

図書だより

令和5年 8月号
三島高等学校 図書委員会

My Favorite Books

今回は、池田 彩音先生 です！！



Q簡単な自己紹介をお願いします。

今年度の春に赴任してきました、地歴公民科の池田彩音といます。206HRの副担任とフェンシング部の副顧問をしています。愛媛県宇和島市で生まれ、松山市で学生時代を過ごし、大阪の大学に4年間通った後、また愛媛県に帰ってきました。慣れない東予での生活に戸惑いながらも、日々楽しく過ごしています。

Q学生時代に感銘を受けた本、皆に読んでほしい本を教えてください。

高校3年生になって毎日毎日受験勉強をしていた頃、どうしても勉強したくない気持ちと勉強しなければならない気持ちがせめぎあい、たどり着いたのが「電子辞書に搭載されている青空文庫を読み漁る」ことでした。（青空文庫とは、著作権が消滅した作品や著作者が許諾した作品が公開されている電子図書館のことです。）周りが机に向かって自習している中、勉強しているふりをして一人小説を読むのは背徳感がありましたが、国語の授業で出てきた作品をもう一度読み返してひどく感銘を受けたのを覚えています。

一つは夏目漱石の『ころも』です。教科書では第3部しか習わなかったため、第1部から読んで話の全容が見えたときは、思わず頭を抱えました。もう一つは芥川龍之介の『秋』です。現代文の問題集に載っており、続きが気になって探しました。これは、幼馴染の従兄をめぐる姉と妹の歪な三角関係を、姉視点を主として描いた物語です。三人の心理が美しく丁寧に表現され、「秋」の情景描写とも相まって何とも言えない切ない気分になりました。「芥川龍之介ってこんな作品も書くんだ！」と驚いた作品です。

Qみなさんに読んでほしい本を教えてください。

「放課後、美術室で映画を観ませんか？」 『君の名は。』が世間で賑わっていた頃、美術部顧問の先生の提案で、部員数名と映画鑑賞をしました。それが『言の葉の庭』でした。46分という映画にしては短い作品で、靴職人を目指す男子高校生と「歩くこと」ができなくなった女性の出会いから始まる物語です。新海誠作品を観るのはそれが初めてで、最初に抱いた印象は「絵と音楽が美しい」でした。ただ、当時の私は「何かすごいものを観た」という気持ちでいっぱい、この物語を咀嚼するには自分の中の引き出しが足りないと感じました。その数年後、小説版である『小説 言の葉の庭』を手に取りました。映画版とは違って群像劇で物語は進み、自分の経験と登場人物の心情を重ね合わせることで、高校生の時には出てこなかった解釈が自分の中でどんどん生まれていきました。あのとき提案してくれた美術の先生が、この作品から芸術的な表現を学び取ってもらいたかったのか、はたまた別のところで何か感じ取ってもらいたかったのかは分かりませんが、「人と人が出会うとは何か」を考えさせられる作品だと思います。

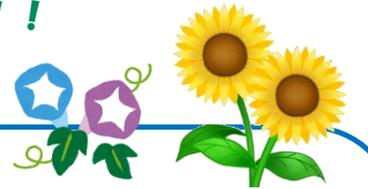
みなさんには、おすすめの本を紹介！というよりも、気になった本をどんどん手に取って読んでもらいたいです。本に抵抗がある人は、私のように映画から気になった作品を手にとってみてほしいかもしれません。映像にはない、文字だけでしか伝わらない表現を感じ取ってほしいです。

Q三高生に一言！

大学に入って様々な人と話すうちに、「自分は全然本を読んでいない」「知らないことがいっぱいある」ということを痛感しました。学生のうちにもう少し読書していたらな…と後悔もしています。皆さんには高校生のうちに様々なジャンルの本を手にとって、多種多様な考え方に触れてほしいです。自分の中でいまいちピンとこなくても、積み重ねてきた経験で捉え方は変わっていきます。読んでいくうちに「これはおかしいのではないか？」と思うことも立派な読書体験になります。皆さんが心を動かされる一冊に出会えることを願っています！

池田先生、ありがとうございました！！

2年1組図書委員のおすすめ本紹介♪



『人間失格』 筆者：太宰治

「恥の多い生涯を送ってきました」三枚の奇怪な写真と共に渡された睡眠薬中毒者の手記には、その陰惨な半生が克明に描かれていた。無邪気さを装って周囲をあざむいた少年時代。次々と女性と関わり、自殺未遂を繰り返しながら薬物におぼれていくその姿。「人間失格」はまさに太宰治の自伝でもあり遺書でもあった。作品完成の1ヶ月後、彼は自らの命を断つ。時代をこえて読みつがれる名作です！是非読んでみてください！

『変な絵』 筆者：雨穴

見れば見るほど、何かがおかしい？ とあるブログに投稿された『風に立つ女の絵』、消えた男児が描いた『灰色に塗りつぶされたマンションの絵』、山奥で見つかった遺体が残した『震えた線で描かれた山並みの絵』……。いったい、彼らは何を伝えたかったのか――。

9枚の奇妙な絵に秘められた衝撃の真実とは!? その謎が解けたとき、すべての事件が一つに繋がる！ 今、最も注目を集めるホラー作家が描く、戦慄のスケッチ・ミステリー

『告白』 筆者：湊かなえ

「このクラスの生徒に娘を殺された」担任の森口悠子の語りから、この物語ははじまります。事件の真相が担任・クラス委員の手紙・クラスメイトの母親の日記・そして犯人本人から、視点が変わりながら語られていくという独特の語り口で物語は進行していきます。犯人は森口の推測通り、クラスの中にいるのか？ 犯人が犯行に至った経緯には、犯人とその家族との関わりが深く関係していたのでした…。

2年1組図書委員さんありがとうございました☺



◎新着図書 多くの本が入りました！

★芥川賞：ハンチバック /市川 沙央

★直木賞：極楽征夷大將軍 /垣根 涼介
木挽町のあだ討ち /永井 紗耶子

・オール・ノット /柚木 麻子

・墨のゆらめき /三浦 しをん

・ヨモツイクサ /知念 実希人

・鈍色幻視行 /恩田 陸

・世界でいちばん透きとおった物語 /村井 光

・この夏の星を見る /辻村 深月

・持続可能な発展の話―「みんなのもの」の経済学 /宮永 健太郎